



# 今年のインフル流行は？ 感染予防はしっかりと！！

## 感染症発生動向速報

(令和3年第40週分・10月4日～10月10日)

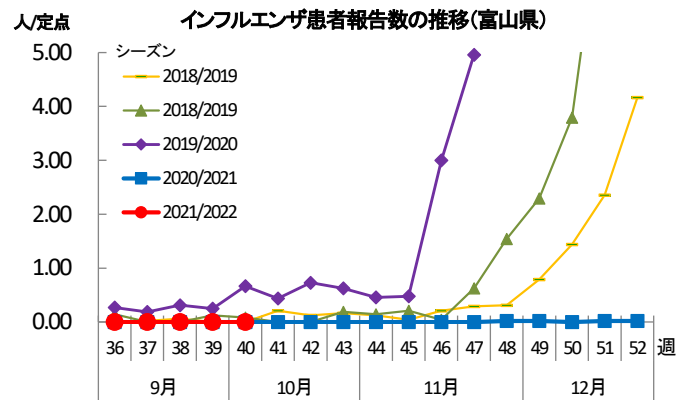
### 《インフォメーション》

#### ●インフルエンザ

県内での2021/2022シーズンのインフルエンザの発生は、前シーズン(2020/2021)に引き続き、過去同時期と比較して少ない状況となっています(右図)。9月以降、定点医療機関からの届出はなく、入院サーベイランス(県内5基幹定点医療機関からの届出)で1例報告されているのみです。全国的にも報告数は少なく、散発的な発生にとどまっています。

わが国ではインフルエンザは、例年12月から翌年の2月にかけて流行します。臨床像としては、38℃以上の発熱、頭痛や関節痛・筋肉痛などの全身症状が特徴です。高齢者や持病のある方では肺炎合併のリスクがあります。小児ではまれに脳炎・脳症を発症します。重症化対策として、流行前のインフルエンザワクチン接種が有効です。

前シーズンにインフルエンザの流行がみられなかった理由として、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、社会的距離を保つこと、手指消毒やマスク着用等の対策がインフルエンザの予防にも効果的であったと考えられます。今シーズンのインフルエンザの流行がどうなるかはまだ分かりません。前シーズンにインフルエンザに罹患した人が非常に少なかったため、社会全体の集団免疫が形成されていない可能性が考えられます。このような状況で、海外からウイルスが持ち込まれると大きな流行を起こす可能性もあるため、今シーズンもワクチンの積極的な接種が推奨されています。ワクチン接種の効果が現れるまで約2週間かかります。効果は5ヵ月間持続しますので、早めの接種を検討しましょう。なお、新型コロナウイルスワクチンとインフルエンザを含む他疾患のワクチンの接種は原則として13日以上の間隔を空けることとされています。



### 《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 33件
- 二類感染症 結核 6件 (①第37週診断分：80歳代、男性 ②30歳代、男性 ③～⑤全て80歳代、男性 ⑥90歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (30歳代、男性、O157、VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件 (40歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 急性脳炎 1件 (10歳代、女性)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.21 (↑)	1.83
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41 (↑)	0.28
3位	水痘	0.28 (↑)	0.03
4位	咽頭結膜熱	0.21 (→)	0.21
5位	突発性発しん	0.17 (↓)	0.24
6位	ヘルパンギーナ	0.10 (↑)	0.03

○感染症発生動向調査報告状況（令和3年第40週 令和3年10月4日～令和3年10月10日）

分類	疾患	今週報告分（第40週）							累積報告数（令和3年第1週（1月4日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※1	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	1	1	9	3	19		33	371	280	1,074	298	2,134	98	4,255
二類感染症	結核			2	3			5	11	6	29	14	45		105
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1		1		1	7	1	6		15
四類感染症	E型肝炎								3				2		5
	A型肝炎								1						1
	つつが虫病								1						1
	レジオネラ症	1						1	4	3	14	1	9		31
五類感染症	アメーバ赤痢								1				2		3
	ウイルス性肝炎								2				1		3
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										2	2	4		8
	急性脳炎					1		1			1		2		3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症										5	2	2		9
	後天性免疫不全症候群								1			2	1		4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	1		3
	侵襲性肺炎球菌感染症								1		2		12		15
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒								1	1	5		20		27
	播種性クリプトコックス症												2		2
	破傷風										1				1
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										5			
RSウイルス感染症									132	130	1,578	391	825		3,056
咽頭結膜熱				4		2		6	40	40	142	7	145		374
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2		2		8		12	69	39	450	85	245		888
感染性胃腸炎		11	18	5	4	26		64	686	404	557	214	1,246		3,107
水痘			3		4	1		8	1	15	29	17	53		115
手足口病				1		1		2	7		15	2	15		39
伝染性紅斑									1	1	9	1	19		31
突発性発しん				2	1	2		5	51	31	132	47	116		377
ヘルパンギーナ		2				1		3	29	24	84	4	21		162
流行性耳下腺炎		1						1	3	2	9	8	13		35
流行性角結膜炎									3	1					4
細菌性髄膜炎													2		2
無菌性髄膜炎													2		2
マイコプラズマ肺炎											1	9	1		11
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1						1
インフルエンザによる入院患者（※2）												1			1

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 その他は県外、居住地非公表分です。 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週（9月6日）～の集計です。